学校協議会の活性化について

めざす状態	学校協議会において、活発に意見交換が行われ、委員からの意見等に 対して学校から適正にフィードバックがなされている状態。
現状と課題	当区教育会議において、学校協議会をより活発な意見交換を行う場にすべきではないかという議論があり、各協議会の運営状況について実態調査を行ったところ、一部の協議会において「学校協議会 運営の手引き」に沿った運用がなされていない状況が見受けられた。また、区としてもそのような状況を把握できておらず、運営を補佐する役割が十分に果たせていない。 各協議会
	(2-②) 学校協議会への参加、立会いができていない (2-③) 区ホームページにおいて、各協議会の運営状況を公表するな どの情報発信ができていない

改善策	「学校協議会 運営の手引き」にもとづく適正な運営の実施 (1-①) 会長への働きかけ、就任時等の研修において委員の役割について理解を得る(区、学校) (1-②) 会議資料の事前送付の徹底(学校) (1-③) 学校協議会関連項目を学校ホームページトップ画面に設定(学校) (1-④) 委員向けの授業参観や学校行事等の見学を実施(学校) (1-⑤) 運営要項の制定(学校) (1-⑥)・保護者と地域関係者は必ず推薦し、学識経験者も含めた多様な委員構成とする・委員の固定化しないよう配慮 (2-①) 新任委員等に対する研修の実施(区、学校) (2-②) 学校協議会への積極的な参加、立会いの実施(区) (2-③) 区HPに学校協議会ページを作成し、各協議会へのリンク先を掲載するなど情報発信を強化(区)
当面の到達目標	★令和4年度中に実施する学校運営状況調査において、上記改善項目が全ての学校協議会、区役所で実施されている状態★委員に対し実施する「学校協議会の運営に関するアンケート」において、「学校協議会は活発に意見交換されている」と感じる委員の割合
	の向上 ※具体的な目標数値については、令和3年度に実施するアンケート結 果にもとづき設定。